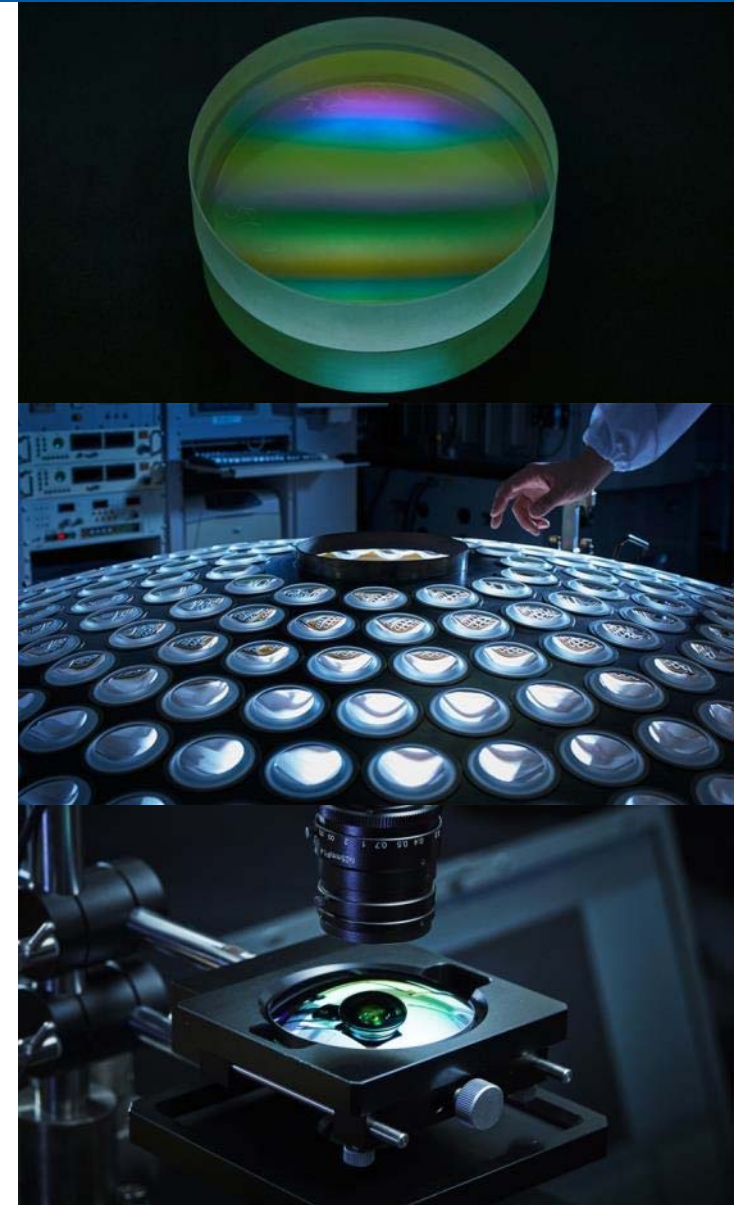


2018年12月期 決算説明会

2019年2月12日（火）
株式会社タムロン
（証券コード：7740）



目次

I. 総括・中期経営計画進捗

1. 2018年総括
2. 中期経営計画と進捗
 - ①連結業績
 - ②分野別動向

II. 2018年実績

1. 2018年通期実績
2. 営業利益変動要因
3. 2018年セグメント別通期実績
 - ①写真関連事業
 - ②レンズ関連事業
 - ③特機関連事業

III. 2019年計画

1. 2019年通期計画
2. 2019年セグメント別通期計画
 - ①写真関連事業
 - ②レンズ関連事業
 - ③特機関連事業

IV. 参考情報

1. 財政状況
2. 設備投資、減価償却費、研究開発費
3. キャッシュ・フロー
4. 配当金、主要経営指標
5. 為替影響

TAMRON

I. 総括・中期経営計画進捗

TAMRON

I - 1 . 2018年 総括

【 経 営 環 境 】

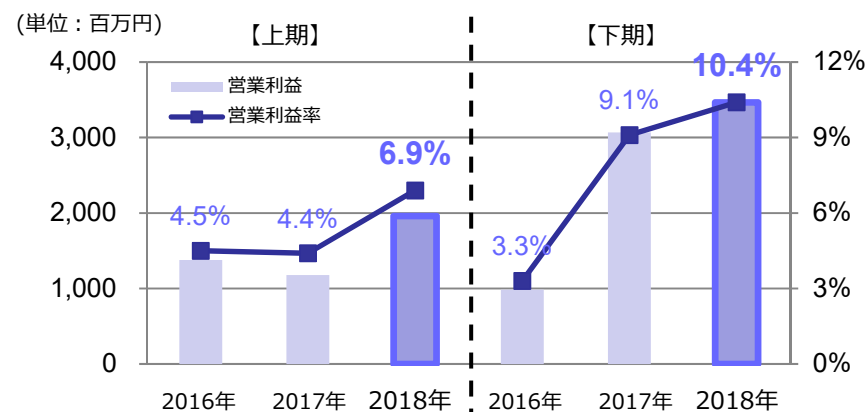
- 市場環境 :
 - ・レンズ交換式カメラ ⇒ 前期比8%減
(カメラ動向 → 一眼レフ : 前期比13%減、**ミラーレス : 前期比1%増**)
 - ・交換レンズ ⇒ 前期比6%減
(レンズ動向 → APS-C : 前期比12%減、**フルサイズ : 前期比8%増**)
 - ・コンパクトデジタルカメラ ⇒ 前期比35%の大幅減
 - ・監視カメラ/車載カメラ ⇒ 成長が継続
- 景気動向 : 下半期から減速傾向が鮮明化

【 当 社 業 績 】

- ・デジタルカメラ市場減少も、**全セグメントで増収。**
- ・過去最高粗利率の達成、販管費抑制により**利益率が大幅上昇。**
⇒**2期連続の増収、2ケタ増益を達成。**
- 収益性の改善が進捗し、**普通配当金としては過去最高の年間60円**を実施予定。

【半期別 営業利益・利益率】

上期・下期ともに増益（下期の営業利益率10%台）



TAMRON

I - 2. 中期経営計画と進捗 ①連結業績

中期経営計画 (2018年2月公表)

	2017年 実績	2020年 中期計画
売上高	605億円	720億円
営業利益	42億円	66億円
営業利益率	7.0%	9.2%
ROE	5.8%	9%以上

※為替前提
ドル=110円、ユーロ=130円

1年目進捗

	2018年 期初計画	2018年 実績
売上高	630億円	618億円
営業利益	48億円	54億円
営業利益率	7.6%	8.8%
ROE	6.6%	8.6%

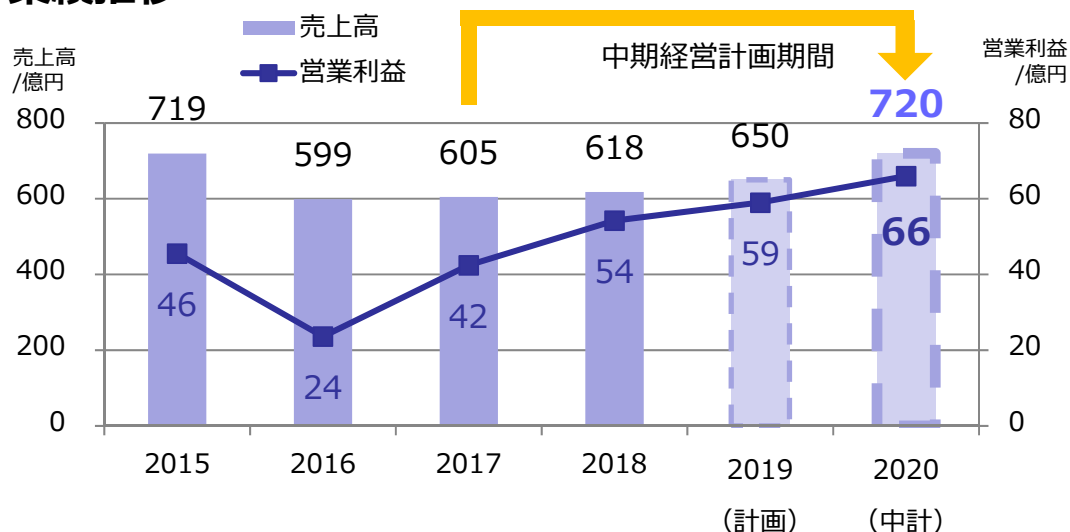
※為替実績
ドル=110.45円、ユーロ=130.38円

2年目計画

	2019年 計画
売上高	650億円
営業利益	59億円
営業利益率	9.1%
ROE	7.9%

※為替前提
ドル=110円、ユーロ=125円

業績推移



中期計画達成に向け、着実な進捗

- 1年目は売上未達も、収益性の改善は想定以上に進捗
- 2年目は、収益性を確保しつつ、売上の拡大を図る

⇒ **4期連続増収増益で中期計画を達成へ**

(中計期間中は増収増益継続が基本的な考え方)





TAMRON

I - 2 . 中期経営計画と進捗 ②分野別動向

<分野別基本方針>

デジタルカメラ分野 (成熟市場)	大きな売上成長は前提とせず、収益性向上を最優先 (自社ブランドでの粗利率の向上、事業運営コストの効率化)
監視/FA関連分野 (安定成長市場)	多様な開発体制とレンズユニット・モジュール両輪での事業体制確立 (競争力の維持・確保、産業向けでの裾野拡大)
重点分野 (高成長市場) ※ドローン/車載	積極的なリソース投入による事業規模拡大フェーズ (開発キャパ確保等による対応力強化) (要素技術開発・コスト対応にかかる研究開発・設備投資) ⇒各重点分野での地位確立
新規分野	協業・M&A等も含めた新規事業候補の創出フェーズ ⇒2021年以降の本格的な売上成長実現を見据えた 確実な仕込み

<2018年主な進捗>

	写真関連営業利益率 16年 8.6% ⇒ 18年 15.6%
	18/4Qから、モジュールビジネスの売上が本格化 (四半期で約4億円)
	車載は2ケタ増収継続 18/3Qから、ドローン向けの売上が本格化 (年間10億円超)
	医療関連での足がかり

TAMRON

I - 2. 中期経営計画と進捗 ②分野別動向※参考：売上計画

・デジタルカメラ関連の売上構成比： 2017年 80% ⇒ **2020年 60%台へ**

・重点・新規分野の売上高：**2020年 約100億円へ**

(単位：億円)

セグメント	カテゴリ	分野	2017年 実績	2018年 実績	2019年 計画	2020年 中期計画
写真 関連	自社	デジタルカメラ	283	286	293	315
	OEM	デジタルカメラ	170	170	172	175
	計		453	456	465	490
レンズ 関連	DSC/VC	デジタルカメラ	27	20	14	5
	ドローン	重点	6	13	15	48
	他	監視/FA関連	1	1	0	2
	計		34	34	29	55
特機 関連	監視/FA他	監視/FA関連	95	101	121	123
	車載	重点	23	26	34	45
	他	新規	-	0	1	7
	計		118	127	156	175

TAMRON

Ⅱ. 2018年実績

TAMRON

II-1. 2018年 通期実績

(単位：百万円)

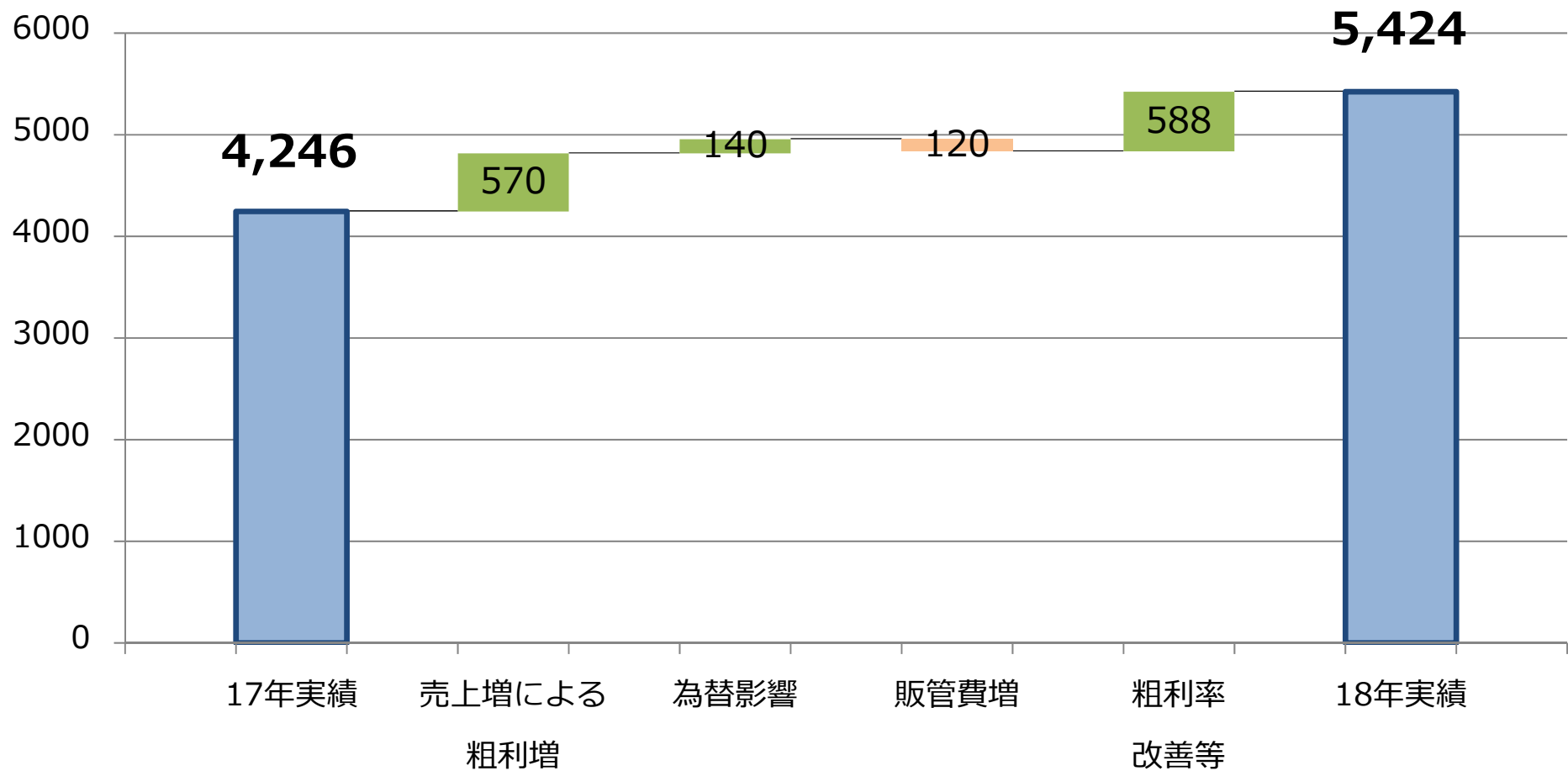
	2017年 通期実績	2018年 通期計画 (7/24計画)	2018年 通期実績	増減 (対前年)		増減 (対計画)	
				額	率	額	率
売上高	60,496	63,000	61,815	+1,319	102.2%	△1,184	98.1%
粗利益	20,596	—	21,905	+1,308	106.4%	—	—
粗利益率	34.0%	—	35.4%	+1.4%	—	—	—
営業利益	4,246	5,100	5,424	+1,178	127.7%	+324	106.4%
営業利益率	7.0%	8.1%	8.8%	+1.8%	—	+0.7%	—
経常利益	4,100	5,100	5,877	+1,777	143.4%	+777	115.2%
経常利益率	6.8%	8.1%	9.5%	+2.7%	—	+1.4%	—
当期純利益	2,838	3,630	4,330	+1,491	152.5%	+700	119.3%
純利益率	4.7%	5.8%	7.0%	+2.3%	—	+1.2%	—
ドル	112.17	109.30	110.45	△1.72	—	+1.15	—
ユーロ	126.73	129.80	130.38	+3.65	—	+0.58	—

- 増収増益を達成。粗利率は**過去最高の35%台**へ。
- 営業利益は前期比**約30%増益**、当期純利益では前期比**約50%増益**達成。

TAMRON

Ⅱ-2. 営業利益変動要因

(単位：百万円)

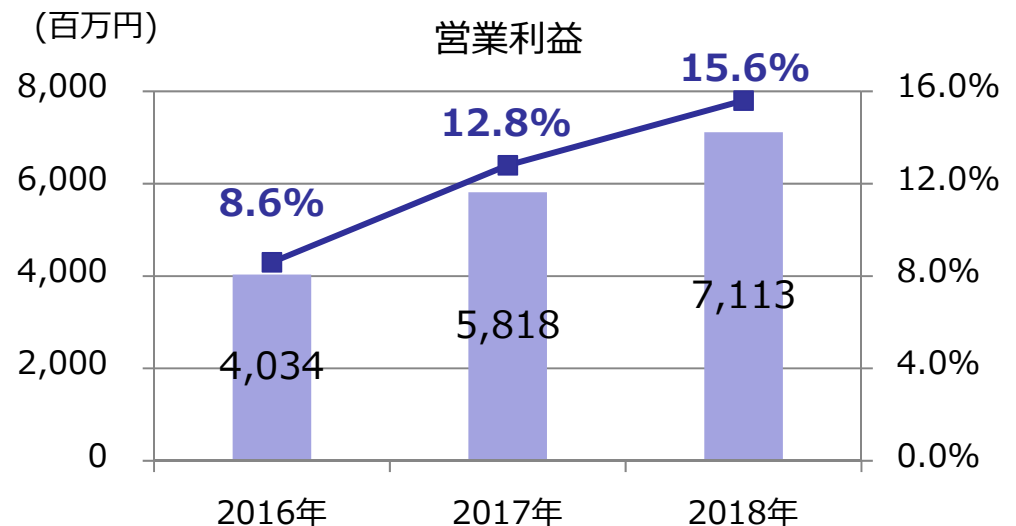
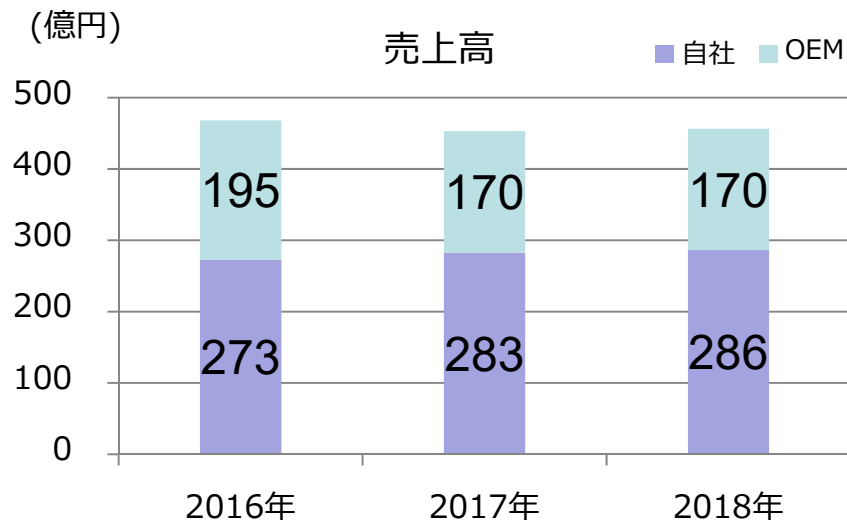


TAMRON

II-3. 2018年 セグメント別通期実績 ①写真関連

(単位：百万円)	2017年 通期実績	2018年 通期計画 (7/24計画)	2018年 通期実績	増減 (対前年)		うち 為替影響	増減 (対計画)	
				額	率		額	率
売上高	45,292	47,600	45,640	+347	100.8%	△1.7億円	△1,959	95.9%
営業利益	5,818	7,350	7,113	+1,295	122.3%	+1.8億円	△236	96.8%
営業利益率	12.8%	15.4%	15.6%	+2.8%	-	-	+0.2%	-

- 自社ブランドは米国での販売好調、2017年以降の積極的な新製品投入により増収。
- 自社ブランドの新製品投入効果等による粗利率改善・経費抑制により、大幅営業増益。**利益率15%台の高収益事業化。**



TAMRON

自社ブランド新製品投入状況

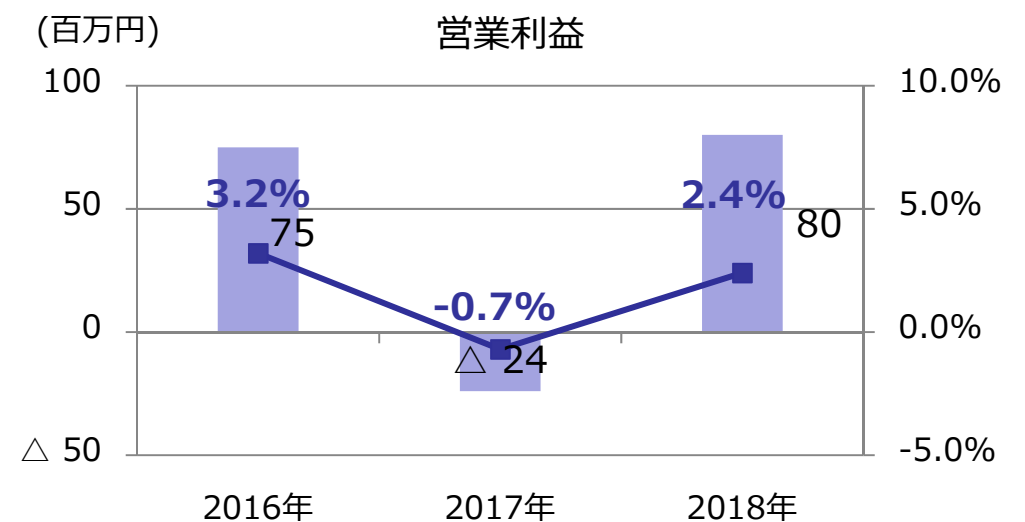
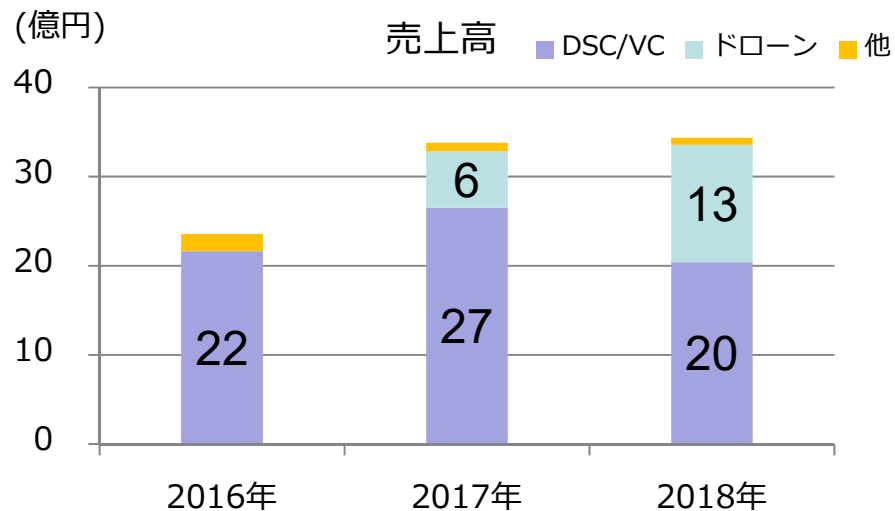
区分	2017年投入	2018年上期投入	2018年下期投入
一眼	広角ズーム 3月発売  10-24mm VC HLD (B023)		9月発売  9月発売  17-35mm F/2.8-4 OSD (A037) SP 15-30mm F/2.8 VC USD G2 (A041)
	標準ズーム 8月発売  SP 24-70mm F/2.8 VC USD G2 (A032)		
	高倍率ズーム 7月発売  18-400mm VC HLD (B028)		
	望遠ズーム 2月発売  2月発売  SP 70-300mm VC USD (A030) SP 70-200mm F/2.8 VC USD G2 (A025) 11月発売  100-400mm VC USD (A035)	4月発売  70-210mm F/4 VC USD (A034)	
ミラーレス		5月発売  28-75mm F/2.8 RXD (A036)	

➤ 2017年からコンスタントに計10機種投入。ミラーレス市場の伸張にも対応し、ラインナップ拡充。**TAMRON**

Ⅱ-3. 2018年 セグメント別通期実績 ②レンズ関連

(単位：百万円)	2017年 通期実績	2018年 通期計画 (7/24計画)	2018年 通期実績	増減 (対前年)		うち 為替影響	増減 (対計画)	
				額	率		額	率
売上高	3,375	3,100	3,436	+61	101.8%	△0.4億円	+336	110.9%
営業利益	△24	50	80	+105	- %	△0.2億円	+30	162.0%
営業利益率	△0.7%	1.6%	2.4%	+3.1%	-	-	+0.8%	-

- DSC/VCが減収も、受注機種増加による**ドローン用レンズの売上倍増**により吸収し、増収確保。
- 2017年はドローン向けの先行投資もあり営業赤字となったが、ドローン向けの事業規模拡大により、増益、かつ**営業黒字化**。

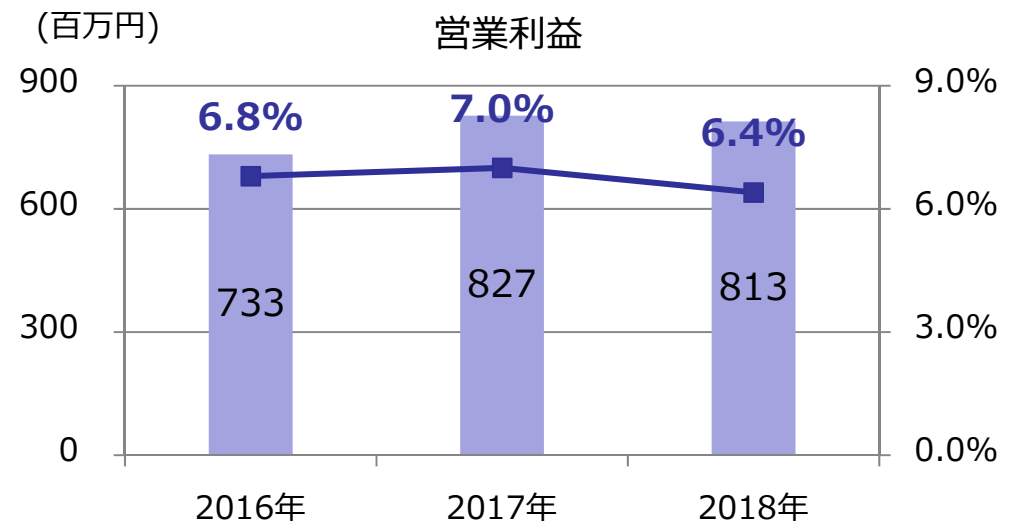
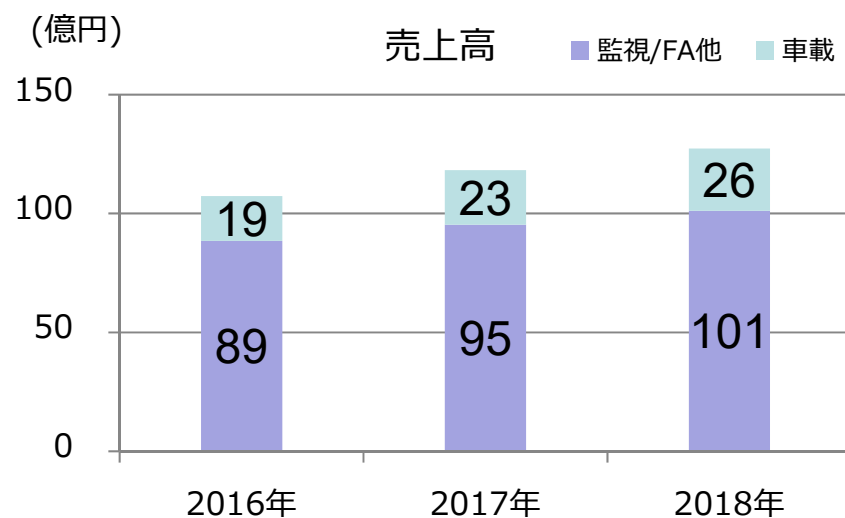


TAMRON

Ⅱ-3. 2018年 セグメント別通期実績 ③特機関連

(単位：百万円)	2017年 通期実績	2018年 通期計画 (7/24計画)	2018年 通期実績	増 減 (対前年)		うち 為替影響	増 減 (対計画)	
				額	率		額	率
売上高	11,827	12,300	12,738	+911	107.7%	△1.4億円	+438	103.6%
営業利益	827	350	813	△14	98.2%	△0.2億円	+463	232.3%
営業利益率	7.0%	2.8%	6.4%	△0.6%	-	-	+3.6%	-

- 車載用レンズの**2ケタ増収**継続。監視/FA用レンズも**2期連続で増収**達成。
- 価格競争、新規ビジネスの先行投資負担がありながら、前年並みの営業利益を確保。



TAMRON

Ⅲ. 2019年計画

TAMRON

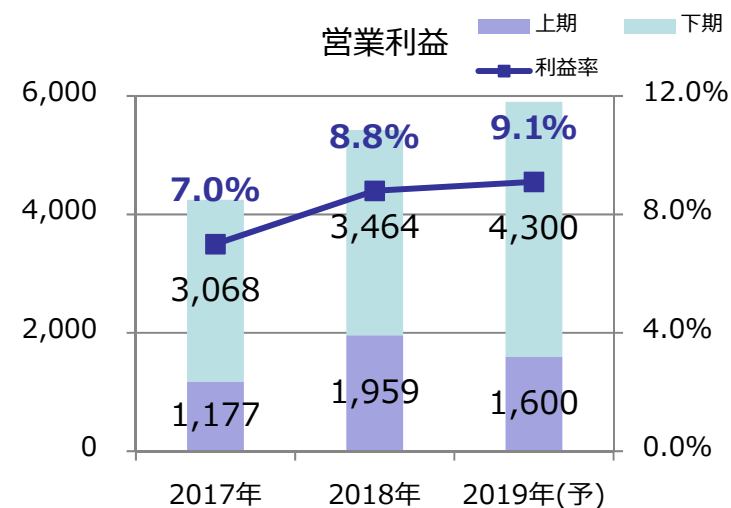
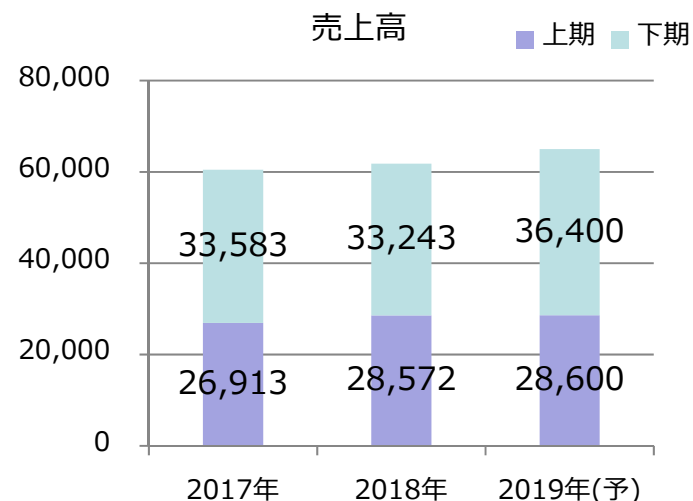
Ⅲ-1. 2019年 通期計画

(単位：百万円)

	2018年 通期実績	2019年 通期計画	増 減 (対前年)	
			額	率
売上高	61,815	65,000	+3,184	105.2%
営業利益	5,424	5,900	+475	108.8%
営業利益率	8.8%	9.1%	+0.3%	—
経常利益	5,877	5,900	+22	100.4%
経常利益率	9.5%	9.1%	△0.4%	—
当期純利益	4,330	4,130	△200	95.4%
純利益率	7.0%	6.4%	△0.6%	—
ドル	110.45	110.00	△0.45	—
ユーロ	130.38	125.00	△5.38	—

【通期見通し】

- 経営環境 ⇒ ・為替は、対ユーロでは円高（利益面にマイナス影響）。
・レンズ交換式カメラ・交換レンズ市場は減少の前提。
- 当社業績 ⇒ ・コンパクトデジタルカメラ用が減収も、その他カテゴリーは増収。
為替のマイナス影響あるも、**増収かつ営業・経常増益。**



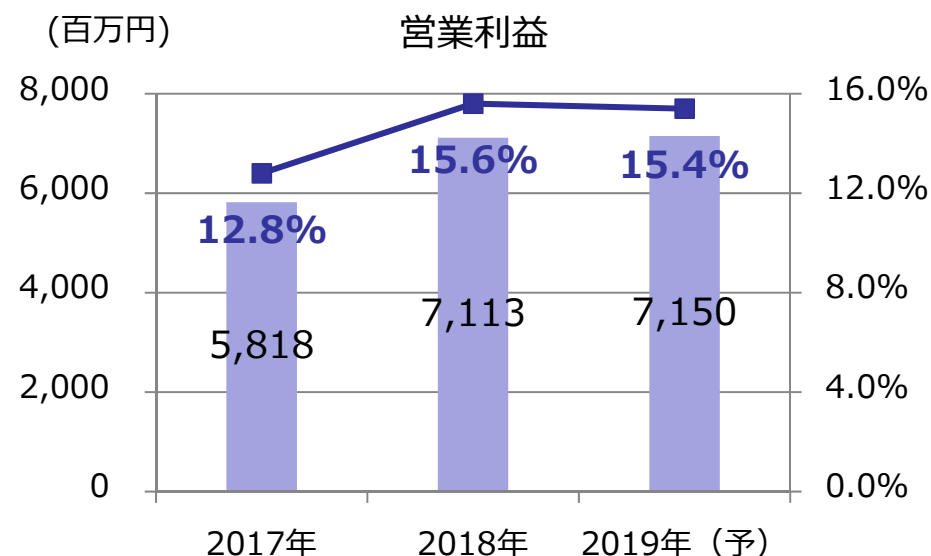
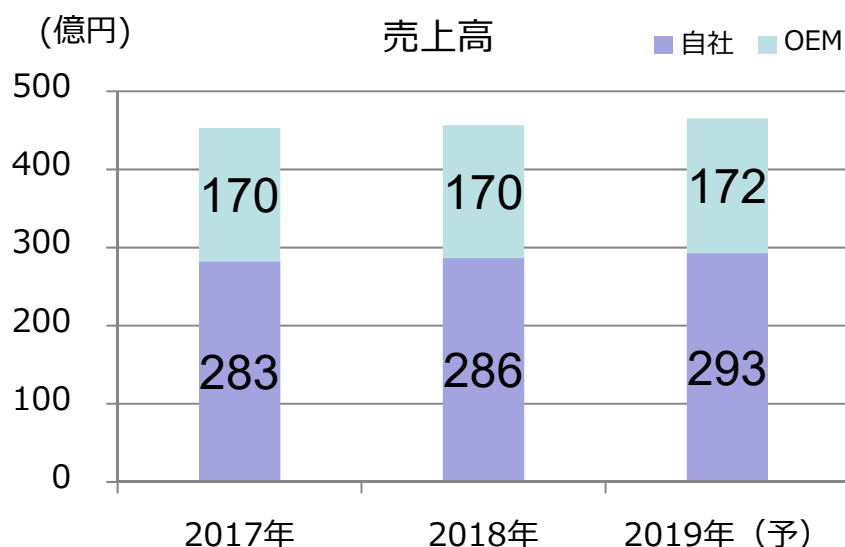
TAMRON

Ⅲ-2. 2019年 セグメント別通期計画 ①写真関連

(単位：百万円)

	2018年 通期実績	2019年 通期計画	増減 (対前年)	
			額	率
売上高	45,640	46,500	+859	101.9%
営業利益	7,113	7,150	+36	100.5%
営業利益率	15.6%	15.4%	△0.2%	-

- 自社ブランドの新製品投入等による増収により、OEMは売上横ばいながら、増収継続。
- 円高ユーロ安の影響により、営業利益は前年並みにとどまるが、**増益・利益率15%台を確保。**



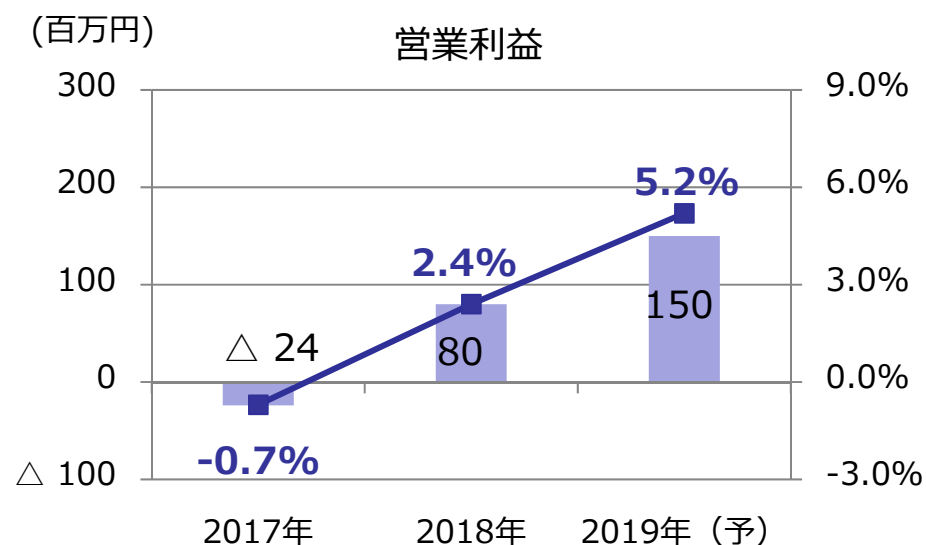
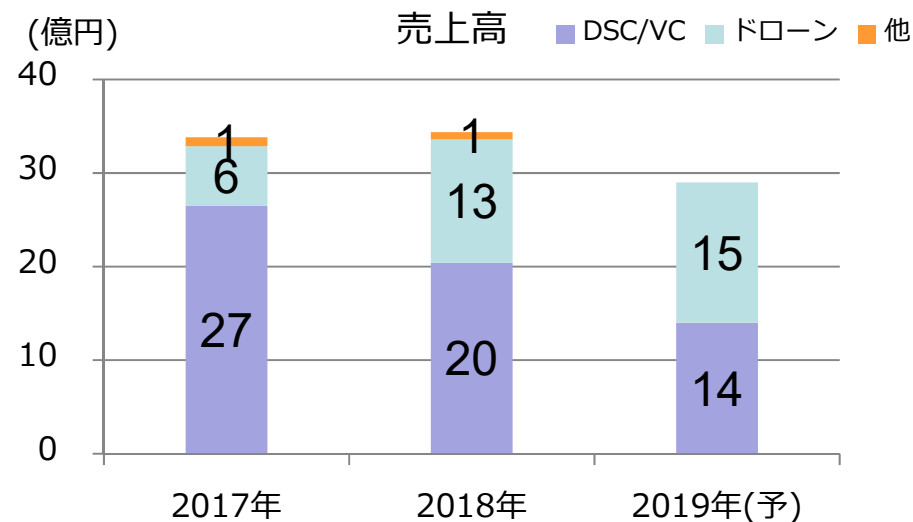
TAMRON

Ⅲ-2. 2019年 セグメント別通期計画 ②レンズ関連

(単位：百万円)

	2018年 通期実績	2019年 通期計画	増 減 (対前年)	
			額	率
売上高	3,436	2,900	△536	84.4%
営業利益	80	150	+69	185.2%
営業利益率	2.4%	5.2%	+2.8%	-

- ドローン用レンズで売上増も、DSC/VCの落ち込みを吸収できず、減収。
- 減収ながらも、ドローン向けの売上規模拡大による事業収益改善により、**利益率5%台へ回復し、増益。**



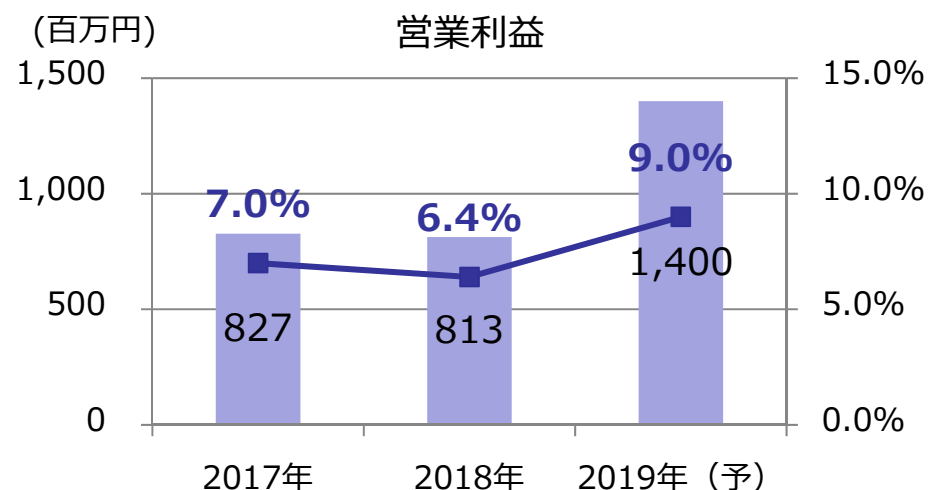
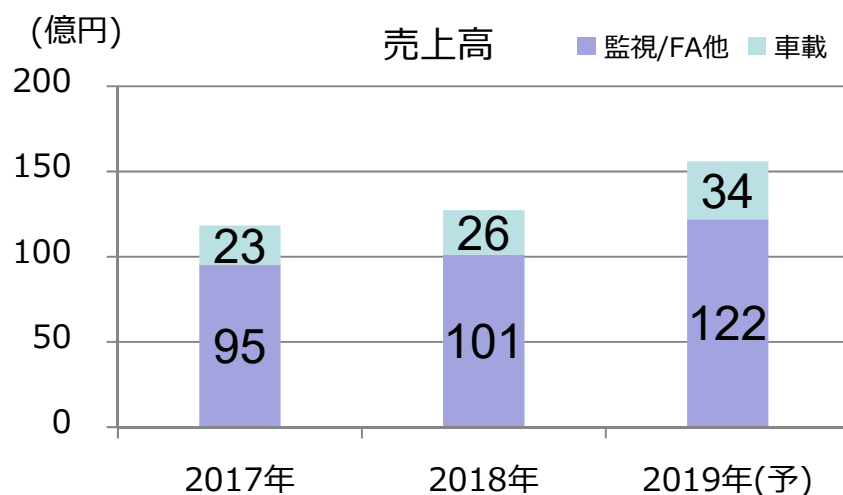
TAMRON

Ⅲ-2. 2019年 セグメント別通期計画 ③特機関連

(単位：百万円)

	2018年 通期実績	2019年 通期計画	増減 (対前年)	
			額	率
売上高	12,738	15,600	+2,861	122.5%
営業利益	813	1,400	+586	172.2%
営業利益率	6.4%	9.0%	+2.6%	-

- 車載はセンシング用途向け拡販等で約**30%増収**。2ケタ成長が持続すると共に、成長スピードが一段と加速。
- 監視/FAもモジュールビジネス本格化等で約**20%の増収**。ピーク時を上回る**過去最高売上高更新**へ。
- 大幅増収、モジュールビジネスの売上拡大による先行投資負担減により、約**70%の大幅増益**。



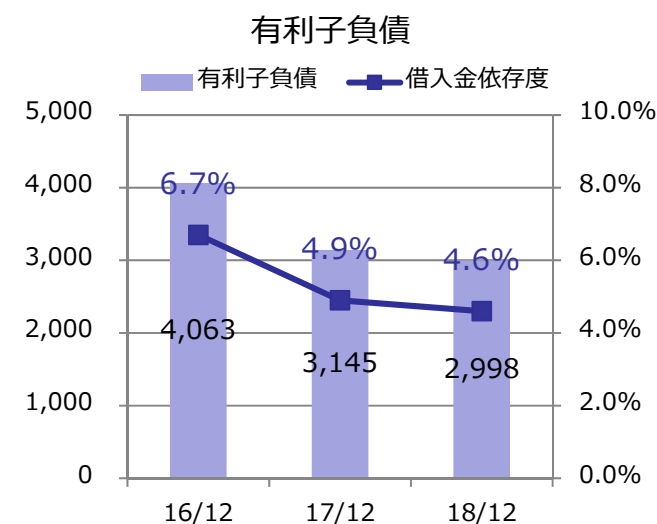
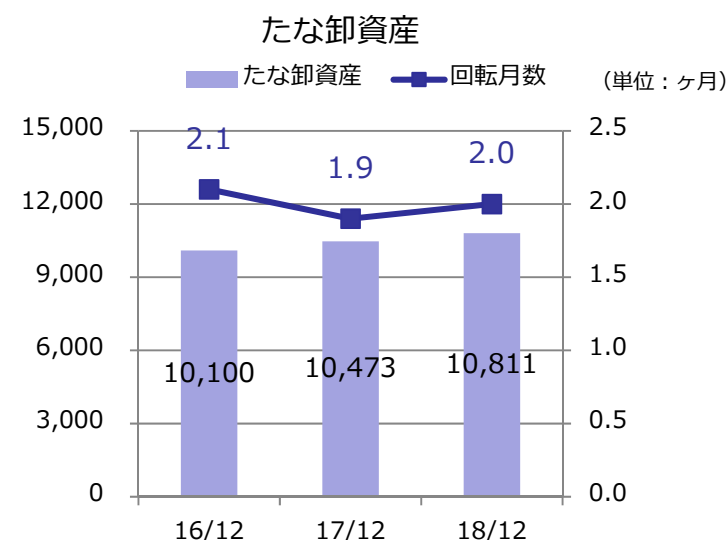
TAMRON

IV. 参考情報

TAMRON

IV-1. 財政状況

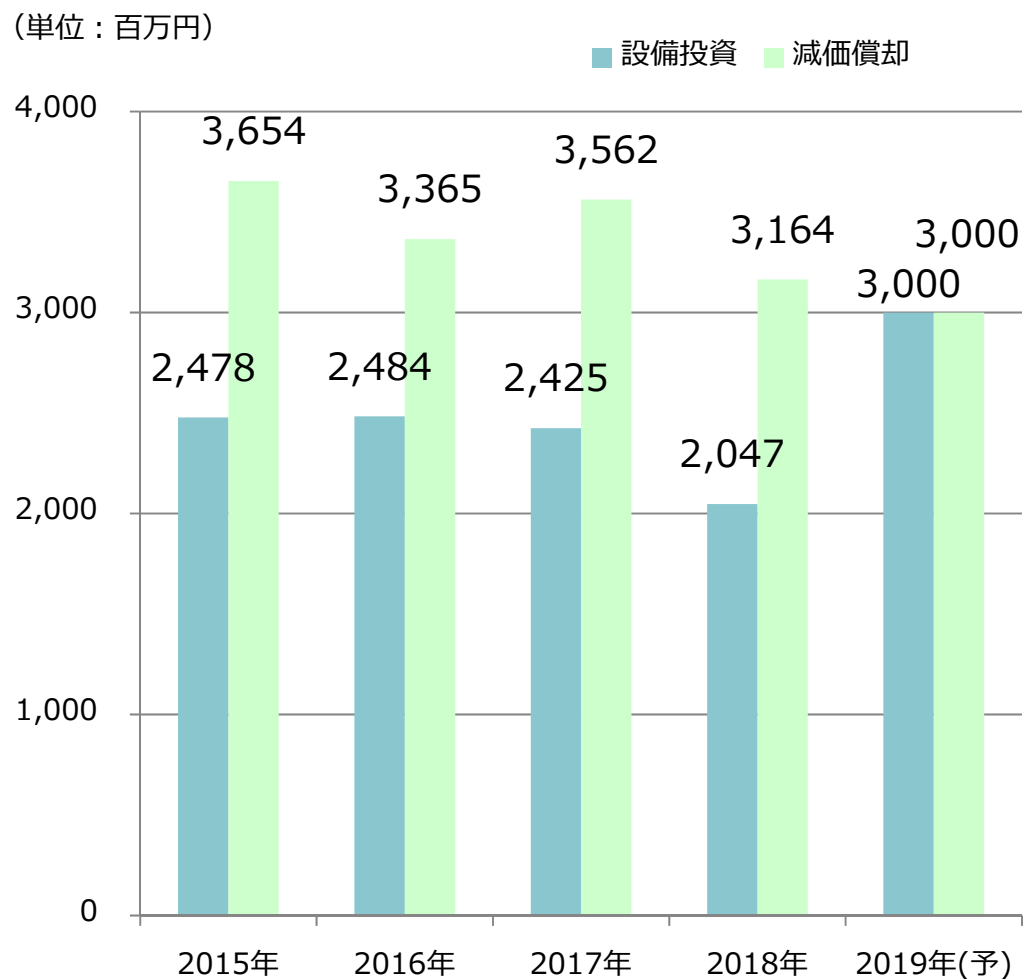
(単位：百万円)	2017年 12月末	2018年 12月末	増減 (対前期末)
現金・預金	19,431	22,438	+3,006
受取手形・売掛金	14,061	13,407	△654
たな卸資産	10,473	10,811	+338
その他流動資産	1,426	1,433	+7
固定資産	18,476	16,613	△1,862
資産合計	63,868	64,704	+836
流動負債	11,931	11,635	△296
固定負債	1,996	2,216	+220
純資産	49,940	50,852	+912
負債純資産合計	63,868	64,704	+836
自己資本比率	78.2%	78.6%	+0.4%



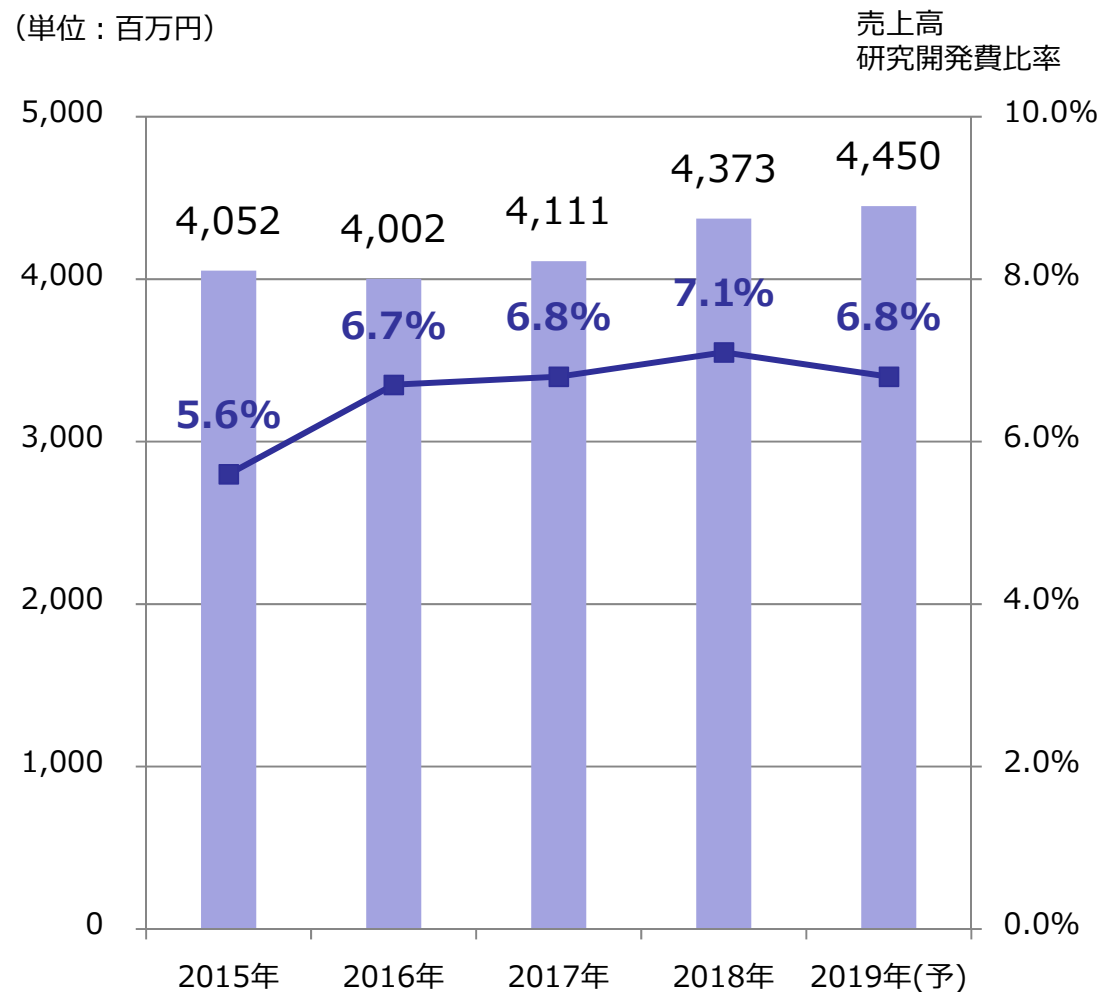
TAMRON

IV-2. 設備投資額、減価償却費、研究開発費

設備投資額・減価償却費

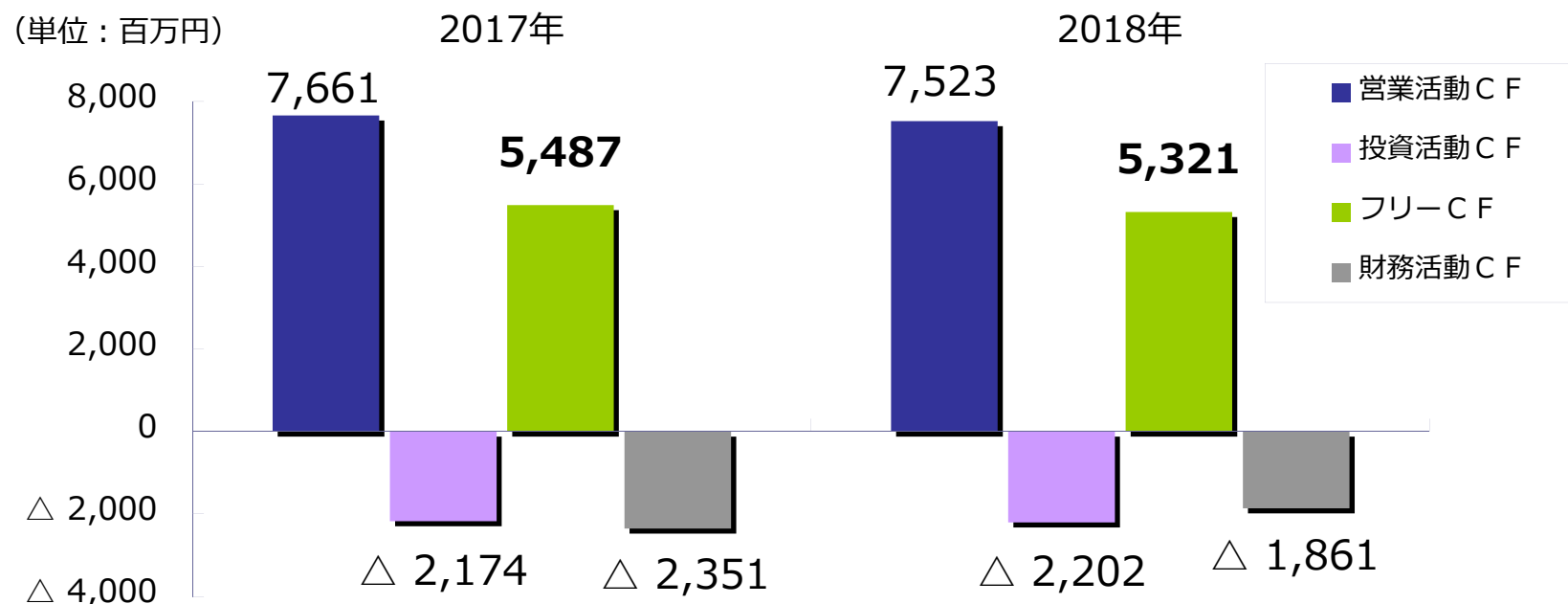


研究開発費



TAMRON

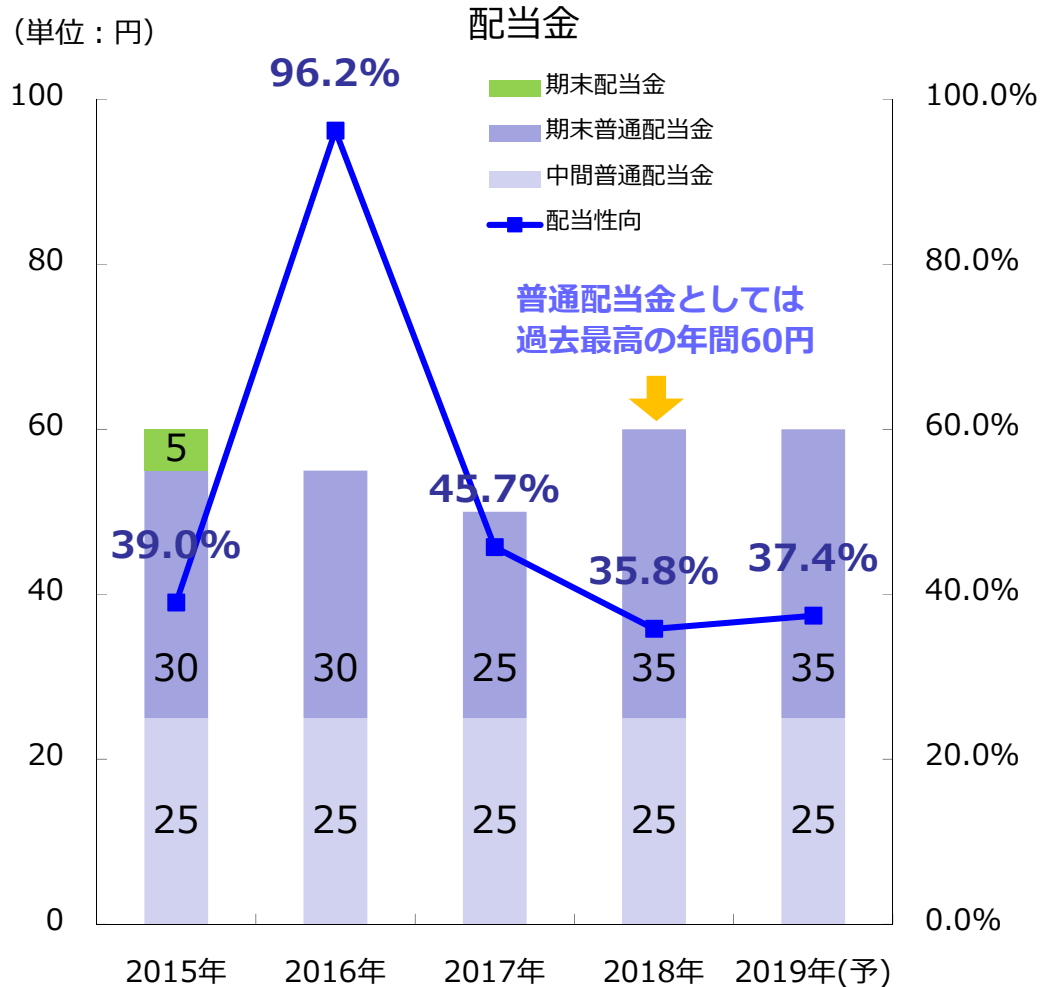
IV-3. キャッシュ・フロー



	2017年	2018年
営業活動CF	7,661	7,523
投資活動CF	△2,174	△2,202
フリーCF	5,487	5,321
財務活動CF	△2,351	△1,861
現金及び現金同等物の期末残高	19,431	22,438
手元流動性（ヶ月）	3.85	4.36

TAMRON

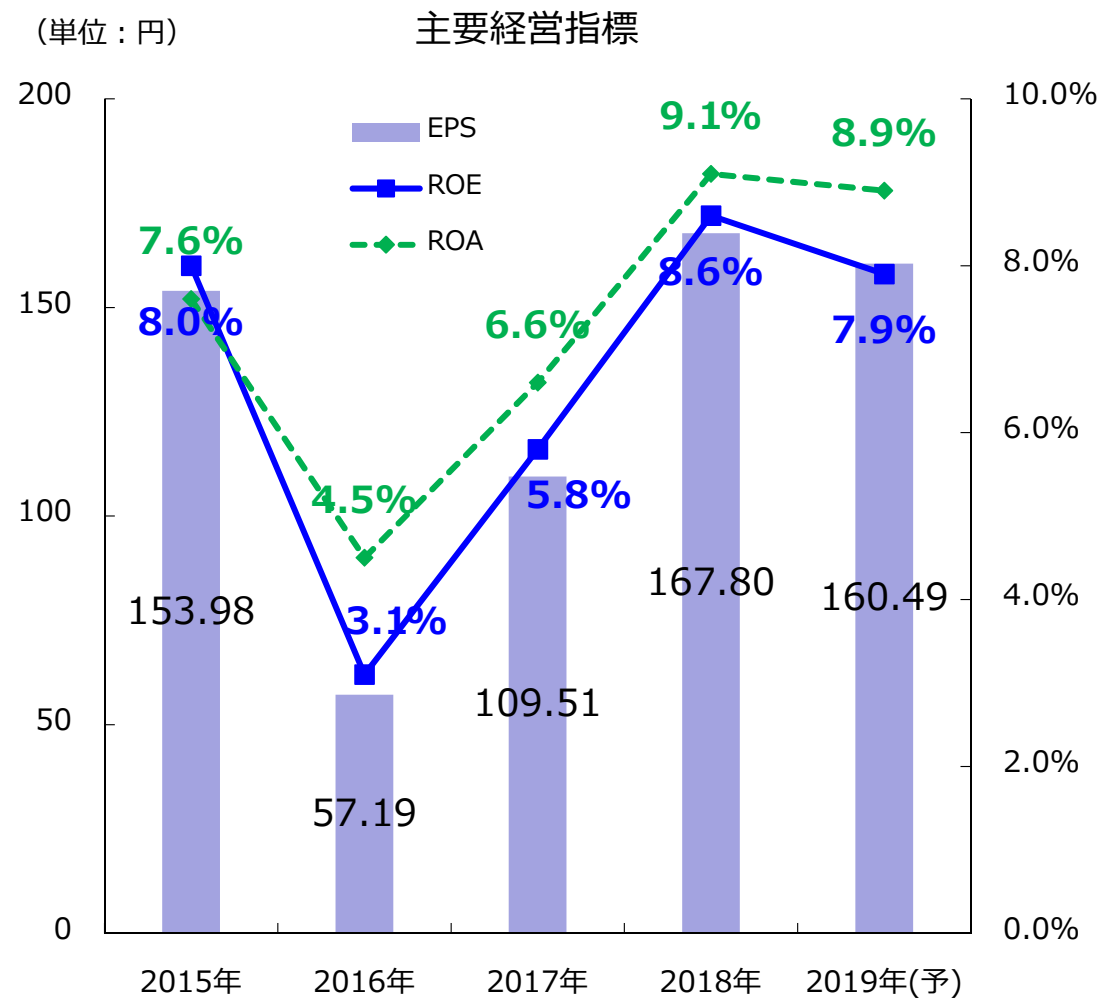
IV-4. 配当金、主要経営指標



※2015年期末配当金には創業65周年記念配当5円含む

配当政策

- ・配当性向目標(連結ベース)： **35%程度**
- ・安定配当



ROE = 当期純利益/純資産 (分母は期中平均)
 ROA = 経常利益/資産合計 (分母は期中平均)

TAMRON

IV-5. 為替影響

①2018年 為替影響額

	為替レート		影響額	
	2017年実績	2018年実績	売上高	営業利益
米ドル	112円17銭	110円45銭	△5.5億円	△0.2億円
ユーロ	126円73銭	130円38銭	+2.6億円	+2.2億円
他通貨	-	-	△0.6億円	△0.6億円
合計	-	-	△3.5億円	+1.4億円

(前期実績に対する影響額)

②2019年 為替感応度

	為替レート	1円の変動 (円高)による影響額	
	2019年前提	売上高	営業利益
米ドル	110円00銭	△3.3億円	△0.4億円
ユーロ	125円00銭	△0.9億円	△0.8億円

TAMRON

将来の事象に係る記述に関する注意

1. 本資料は、2018年12月期の業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却を勧誘するものではありません。
2. 本プレゼンテーション資料及び当社代表者が口頭にて提供する情報は、現時点で入手可能な情報をもとに当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいております。
3. 実際の業績は記載の見通しとは異なる可能性があり得ますことをご承知おき下さい。
4. 本資料利用の結果生じた、いかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。